



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



イマジン
ロータリー



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治孝

新潟 RC 3月第2例会 (2023.3.14) (Zoom 例会併催) No.3451

(1) ロータリー—ソング「四つのテスト」ピアノ演奏

(2) 石川 治孝会長挨拶

先週は東福寺の庭園のお話をしましたが本日は「重森三玲庭園美術館」をご紹介します。

多才なアーティストでもある重森三玲が後半生を過ごした自邸であり。現在、書院と庭園、茶室を、事前予約制の美術館として公開しています。

京都の吉田神社の裏参道に通じる路地の奥に「重森三玲庭園美術館」があります。

書院は寛政元年(1789年)と伝えられる江戸期の建物で、元は吉田神社の神官の邸宅を、1943年(昭和18年)に譲り受け、その後改装を重ね現在に至ります。

現在館長を務めるのは、三玲氏の孫であり美術家の重森三明さんです。

2005年、それまで非公開であった書院や庭園を三玲氏の作品として後世に残したいと、美術館として公開することになりました。

三明さんにとっても、この場所は祖父との思い出の残る生家であり、記憶の中の三玲氏はただただ優しく、まだ小さな孫に対して、自身の仕事や芸術論を語ることはなく、「作庭家としての祖父を知ったのは、ずっと後のことだったそうです。

三明さん自身も美術家であり、現代美術に自身の表現を見いだす一人であり、書院では三明さんの水墨画と写真、掛け軸などの作品も期間限定で展示されていることもあるそうです。

書院前の庭園が表現するのは、枯山水の定番「蓬萊神仙」の世界で。青の美しい石は三玲氏が終生愛した阿波産青石です、徳島県 剣山系一帯 で産出 される緑泥片岩です。

中心の三尊石組みの手前にある平らな石は、かつて吉田神社の神官や公家の来客者がこの上に立って礼拝を行った礼拝石をそのまま生かしています。

敷石で表現された州浜模様も三玲氏が好んで用いたもので、丹波鞍馬石の敷石を州浜模様にあしらい、砂紋で波を表現しています。

「好刻庵」と名付けられた茶室は、1969年(昭和44年)に、三玲氏が設計し新たに建てられたものです。三玲氏の元にはさまざまな客人が訪れていましたが、どんな立場の

人でも席を同じくし、自らお茶をたててもてなしていたそうです。

そして「好刻庵」の襖は、かつて日本画家を志していた三玲氏自身のデザインです。

青と銀の市松模様で大胆な波を描いた襖絵は、桂離宮松琴亭の襖の意匠からインスピレーションを得たものと言われていて、代表作「東福寺」の「八相の庭」にも見られる市松模様は、形を変えてさまざまな作品に登場し、三玲氏の美学「永遠のモダン」を象徴するモチーフとなりました。

「三玲さんの作品は斬新に見えて、実は古典の本歌取りのように、着想の元になったデザインがあります。人が見て美しいと感じるユニバーサルな比率や定型を守り、理解した上で、くずす。三玲好みに“遊んで”いるんです」と孫の三明さんは説明をしているそうです。

つづいて、茶室と水屋の間にある坪庭です。板石と黒い立石で七五三に石組みされていて、奥の水屋の窓や欄干の造作も、さまざまなこれまでの日本建築から着想を得たものです。

このあたりの建築のディテールは建築のことも研究しそして重森三玲流に崩し、しかも破綻しないギリギリの線を狙っていて面白いとおもいました。

またこの書院に下がっている電灯は彫刻家のイサムノグチのデザインのものだそうです。数多くの芸術家と交流のあったことをここでも感じられます。

先週もご紹介しましたが、作庭家として活躍する前、三玲氏は1934年(昭和9年)の室戸台風による文化財被害を嘆き、約3年をかけて全国の日本庭園の実測調査を行います。約300庭にわたる調査は『日本庭園歴史辞典』に編纂され、三玲氏の作庭の土台となりました。

重森三玲は伝統を学び、尊び、膨大な知見の中から自身的美意識と共鳴するものを選び取り、自分らしくアウトプットする。

謙虚でありながら冒険心を忘れないその姿勢は、私らのような庭や文化に携わる人々が重森三玲に憧れる理由だと思えます。

実際、美術や建築を学ぶ人の来訪も多いとのこと、三玲さんのエネルギーを直に感じる事が出来る場所が残っているのは幸せな事だとおもいます。

(3) 退会の御挨拶、バナー贈呈

- ・第一生命保険(株)新潟支社長 金井和義君
- ・損害保険ジャパン(株)新潟支店長 河野泰之君

(4) 石橋正利君へ米山奨学生カウンセラー委嘱状伝達

(5) 新潟クラブへの米山奨学生世話クラブ委嘱状披露

(6) 高橋 秀松ゴルフ同好会会長報告

ゴルフ同好会の高橋秀松です。前年の10月より、高橋康隆前会長から会長を引き継ぎました。また幹事団としまして、佐藤邦栄さん 吉田和弘さん 小林建さん 若槻良宏さん 栗原美樹さん 坂井賢一さんの布陣で参りますので、よろしく願いいたします。

新潟RCゴルフ同好会は昭和34年1959年に第一回懇親ゴルフコンペを開催しております。そちらの飾ってあるカップは64年前に製作されたものです。そしてそのプレートは1959年から2022年までの、歴代の優勝者が刻まれています。

ちなみに最初の優勝者は高橋康隆さんのお父様です。小林建さんのお父様の名前も刻まれています。鈴木滋弥さんがホールインワンをされた記録も刻印されています。本日退任される金井さんの名前も入っています。まさに65年間の優勝者の、汗と努力の結果が刻み込まれています。

いよいよ、2023年ゴルフシーズンスタートします。第一回は、4月は23日に開催いたします。また3年ぶりに前橋RCとの合同ゴルフコンペも計画いたしました。皆さん、新潟RCのゴルフコンペに是非ご参加いただき、このプレートに名前を刻んでいただきますようお願いいたします。

第一例会後には後ろのテーブルに参加表がございますので、参加される方はご記入ください。

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

宇尾野 隆君 本間 彊君

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(北爪 彰人委員)

宇尾野 隆君

青少年育成基金寄付発表(小飯田 澄雄委員)

宇尾野 隆君 石川 治彦君

坂井 賢一君 小飯田 澄雄君

(8) ニコニコボックス紹介(南雲 俊介副委員長)

・河野 泰之君 転勤となりました。皆様には大変お世話になり有難うございます。新潟ロータリークラブに参加させていただき、素晴らしい経験を致しました。

・金井 和義君 2年間大変お世話になりました。13年ぶりの自宅からの通勤となります。家族となじめるか心配です。

・坂井 賢一君 結婚記念のお花ありがとうございました。42年になります。思いは海より深く山より高い気持ちです。

・宇尾野 隆君 先週の祝賀会には新潟ロータリークラブより多くの皆様にご出席いただき誠にありがとうございました。皆様のご祝意をいただき嬉しい限りです。感謝申し上げましてニコニコします。

・吉田 和弘君(RA委員長) ローターアクトクラブのお話、よろしく願いいたします。

(9) 幹事報告(高野 潤幹事)

メールにて配信いたしました。第二分区ロータリークラブ対抗親善ゴルフ大会が6月24日に開催されます。参加頂ける方は5月16日までにお申し込みのうえ、大会参加費3,000円、懇親会費7,000円を事務局へお願い致します。

(10) ローターアクト週間に因み

「アクト活動における学びと“可能性”」

新潟ローターアクトクラブ会計 古俣里夏さん



(11) 3月14日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	83	69	83.13

Zoom参加 15名

来週3月21日は祭日につき例会を開催致しません。

次回 3月28日例会プログラムは
会員スピーチ「日本銀行新潟支店について」
日本銀行新潟支店長
小林 俊さんを予定しております。

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>